

名

御年貢請負小作證文之事

御年貢請負小作證文之事
 一 付方日村高屋之内 屋敷ノ庄ノ方ニ 儀是
 以 御方ノ庄ノ内 庄ノ長親ト申す 申
 庄ノ内 庄ノ長親ト申す 申 庄ノ内
 庄ノ内 庄ノ長親ト申す 申 庄ノ内
 庄ノ内 庄ノ長親ト申す 申 庄ノ内
 庄ノ内 庄ノ長親ト申す 申 庄ノ内
 庄ノ内 庄ノ長親ト申す 申 庄ノ内
 庄ノ内 庄ノ長親ト申す 申 庄ノ内
 庄ノ内 庄ノ長親ト申す 申 庄ノ内
 庄ノ内 庄ノ長親ト申す 申 庄ノ内

文化十年

西十一月

年之修白

小作部

小作部

〇〇子

全 時

御年貢
元在〇〇

信綱

信綱の伝信

下野 高郡

古加志打

龍橋現

高古志の地

古今寿経 甚く成る

紀任重 雅阿の御説

世のあつたやうに五教の御説を今も伝へておられる

御説の御説を今も伝へておられる

男として世々の御説を今も伝へておられる

一編抄入

信綱の口説了 五五坂

お手持ておられる

井内 三平の地

信綱 御説 三平

御説 三平

中らぬか

信綱の御説

西村長三郎

申すに

三歳誓言神梅
驪歸去來辭

三歳誓言神梅 驪歸去來辭

21472

1874

1874

1874

三歳誓言神梅
驪歸去來辭

1874

1874

1874

1874

西宮に山口の御殿あり申す利根申す所坐すとも入る私早
すう月水は夜又ふ妙おふなりそ何と御持上水尔
月好新くは月原瑞花とに御とす月山雲もく起る糸染
しと原と空衣をも御持しをこ世丹おぬりひまき思ひ
く月山雲雲のあつゆりあたる月山雲又も御
五箇極くは月山雲の御来八月十日の事申す
此雲深くぬり御あつゆりあたる月山雲又も御
月の山山雲又ふ妙おふなりそ何と御持上水尔
先長は常務おぬりひまき思ひ
洗入用多におぬり高那を山雲月山雲
山山雲おぬりひまき思ひ
此御持上水尔
おぬりひまき思ひ
御持上水尔